

群馬パース同窓会報

2016.10

No.19

同窓会会長就任にあたって

群馬パース同窓会会長 設楽 達則

2005年度卒 短大理学療法学科2期生

【群馬県立心臓血管センター リハビリテーション課 勤務】



同窓会会員の皆さん、こんにちは。この度、群馬パース同窓会会長に就任しました設楽達則と申します。

私は2005年度に群馬パース学園短期大学を卒業し、群馬県立心臓血管センターに勤務する、現在臨床11年目の理学療法士です。年代からお分かりのとおり、私はあのどかな高山キャンパスで育ちました。

今回、同窓会会長に就任するにあたって思い出されるのが、学生時代に学友会会長をやらせてもらったことです。ほとんどが良い思い出ですが、関係の皆さんにいろいろと迷惑をおかけしたことなど苦い思い出もあります。規模は違っても同じパースの会長にもう一度挑戦できるということで自分自身の中のリベンジの意味も込めて、この機会を大事にしたいと考えております。

いまは高崎キャンパスが拠点となり、看護・理学療法学科に加え検査技術学科が開設される等、パースグループは目覚ましい発展を遂げており、卒業生は1,900人に達しようとしています。ますますパース卒業生の活躍が期待されるなかで、卒業生の皆さんがパースを卒業した医療人として誇りを持って社会で伸び伸びと活躍できるようお役に立てたらと思っています。

小野前会長や役員、関係の皆さんにご指導、ご鞭撻をいただきながら卒業生やこれから社会に出て行く在校生の後輩達のために少しでも力になればと思っております。学生時代と変わらぬパースへの愛を胸にパース卒業生、在校生のために働きたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

退任のご挨拶

群馬パース同窓会前会長 小野 章夫

2004年度卒 短大看護学科5期生

【ほたか病院勤務】



群馬パース同窓会の会長職を池田前会長より引き継いで丸6年が経過しました。この6年間を振り返ると様々なことがありました。同窓会の年間行事で一番のメインイベントである総会は同窓会役員にとつて毎年悩みの種でした。例年6月の下旬に開催していますが、4月頃から役員が高崎に集まり、どうしたら一人でも多くの同窓生に参加してもらえるのだろうと考えながら打ち合わせを重ねました。総会が終わると肩の荷が下りてほっとするのですが、翌年の3月あたりになると「役員を集めなきゃ」と思いながら仕事も忙しくてなかなか打ち合わせの段取りをつけられなくて、胃の痛い思いをしたのを今でも思い出されます。

会長の仕事として総会の運営と並んで毎年の恒例行事だったのが入学式と卒業式に出席しての来賓祝辞です。最初の頃は口から心臓が飛び出るほどに緊張していたのが、回数を重ねるにつれ段々と慣れていきました。この6年間の中では2011年、東日本大震災の影響で問屋町キャンパスの大講義室で開催された入学式が一番印象に残っています。さらに検査技術学科が増えたり、福祉専門学校と合同で入学式を実施したりして、年々規模が拡大しているのを実感しています。

そして来年、検査技術学科の初の卒業生と、新たに放射線学科と臨床工学科の新生を迎え、パース大学は新時代を迎えます。同窓会は設楽新会長の下に新体制で新しい仲間を迎える準備を進めています。私は会長の職を降りますが、会計として引き続き役員にとどまり、新会長を陰から支えていこうと思っています。来年はパース学園創立20周年の記念すべき年でもあり、ますます発展していきます。これからも卒業生と在校生を結び架け橋の役目を果たしていく所存ですので、皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

Dum Spiro Spero

～人には生命ある限り希望がある～

団体名/群馬パース同窓会	役員/会長: 設楽 達則	副会長: 井口 智・田子 利法・宮崎 祐幸	書記: 金谷 泉・赤池 優
名誉顧問/学長: 栗田 昌裕	会計: 小野 章夫	及川 洋・高橋 美咲	庶務: 武江 陽平・栗田 潤・千葉 俊大
	監査: 青柳 直樹・木村 史志		

平成28年度 群馬パース同窓会
総会を開催しました。



新旧役員



総会風景



新役員

平成28年6月25日(土)、群馬パース大学にて同窓会総会を開催することができました。当日は忙しい中、総勢41名の方に参加いただきました。総会では昨年度の事業報告、決算、今年度の事業計画案、予算案等について審議が行われました。7年ぶりに会則の見直しを一部行い、来年度の総会でも引き続き見直しを行っていく予定です。

また、役員人事も3期6年ぶりに会長が交代となり、新会長に短大理学療法学科卒の設楽達則さんが選任されました。(会則については、同窓会ホームページに掲載しております。)

今年度は同窓会組織をより充実するために同窓会名簿の整備等を行っております。引き続き同窓生のご理解ご協力をいただき、来年度は多くの同窓生が参加できる同窓会を催したいと考えます。

今回、勤務などの事情により参加できなかった同窓生の皆様、来年の同窓会には是非ご参加ください。

放射線学科・臨床工学科の開設が決定! 平成29年4月開設

平成29年4月より群馬パース大学は1学部5学科体制になることが決定しました。看護師、理学療法士、臨床検査技師に加え、診療放射線技師及び臨床工学技士の養成と各専門分野の高度な研究活動を通じて、これまで以上に地域社会への貢献が期待できます。

キャンパス移転記念 思い出の高山 わいわい同窓会 開催

9月3日(土)・4日(日)
高山キャンパス

現在、群馬パース大学福祉専門学校として使用している吾妻郡高山村のキャンパスは、今年で群馬パース学園での使用が最後となります。開学から20年の月日が経ちましたが、泣いたり笑ったりの日々が懐かしく思い出され、名残惜しくもあるキャンパスではないでしょうか。

この度、専門学校が渋川へ移転することを記念して短大・大学・専門学校の大同窓会を開催し、総勢101名の同窓生が集まり思い出を語り合いました。



SHIROTA組 ミニライブ



矢島看護学科長の乾杯でスタート



第19回 ★★★★★ 流星祭 開催!

2016 ★★★★★
10/29(土)・30(日)
10:00 スタート



30日(日)同窓会から
模擬店出店します!
コーヒーショップ
ぜひ遊びに来てください!



公益財団法人 星総合病院 勤務

大河原 麻里

(2012年度卒 大学理学療法学科5期生)



私は、臨床実習でお世話になった病院に勤務をしています。臨床実習では、初めて乳癌術後の患者さんに対してのリハビリテーションがあることを知りました。乳癌術後の合併症である、リンパ浮腫患者さんに対しての複合的治療を行っていたのがとても印象的でした。今までの臨床では、運動器疾患や脳血管疾患を主に携わってきましたが、星総合病院では、女性特有の疾患のリハビリテーションを実際に学ぶことができ、もっと知識を深め学んでいきたいと思い、現在乳腺外科班で勤務をしています。

乳癌術後のリンパ浮腫の患者さんと関わる中で、普段着ていた洋服が着られなくなってしまうたり、家事や趣味の日常生活活動が制限され、不自由を感じている患者さんがいます。患者さん一人一人悩みや不安は、いろいろあります。

リハビリテーションでは、身体機能面での回復を目指すとともに、心理的なサポートも含めて実施しています。また、その人に合った、その人らしいライフスタイルが過ごせるように、QOLを高め、早期回復、社会復帰を目指しています。患者さんからは、仕事復帰のお話や元気で生活をしているなど声をかけて頂くことがあり、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

今後も、日々努力し患者さんやご家族へ適切な情報提供やセルフケア、日常生活指導を行い、患者さんのQOLの向上に役立てていきたいと思っています。

医療法人 恒和会 関口病院 勤務

米山 香里

(2012年度卒 大学理学療法学科5期生)



私は現在、渋川市にある関口病院で勤務しています。当院のリハビリテーション科は運動器リハビリテーションを中心に入院、外来に分かれてリハビリを行っています。

入職して間もなく、患者さんから先生と呼ばれるようになり、学生では経験出来なかった臨床での厳しさや責任を感じました。また、自分が行ったりハビリと患者さんの努力が患者さんを笑顔にできる喜びを感じ、もっともっと患者さんから信頼される理学療法士になりたいと思いました。

現在、私は外来を担当しています。外来患者さんは、手指から足趾まで様々な疾患をもった方が見えます。数多くの疾患に触れることができ、日々とても勉強になります。また、外来では限られた時間の中で結果を出さなければなりません。いかに患者さんのことを考え評価し、治療を行うか、知識をもっと身につけ、技術をさらに磨いていきたいと思っています。

在学中、特に思い出に残っていることは国家試験勉強です。思うように点数が上がらず苦戦しました。そんな中、毎日朝から夕方までグループの皆と切磋琢磨し勉強に励んだことは一番の思い出です。また、家族や友人、学校の先生の支えがあったからこそ頑張ることができたのだと思っています。

社会人になった今、国家試験で頑張ったことや様々な人の支えがあったからこそ今があると思うと、どんな辛いことでも乗り越えます。国家試験に合格し、理学療法士になった時の喜びを忘れず今後も努力していきたいと思っています。

介護老人保健施設

あげお愛友の里 勤務

川浦 真紀

(2012年度卒 大学理学療法学科5期生)



私は今、埼玉県にある介護老人保健施設に勤務しています。はじめに入職したのは病院でしたが、結婚を機に引っ越し、現在の勤務先で働いており、今年で4年目となります。今まで急性期、回復期、生活期と経験させて頂き、様々な疾患の方々と接する中で、うまくいかないことが多く、自分自身の技術・知識不足を痛感する毎日です。また、実習生の指導もさせて頂き、私自身、在学中での実習を思い出しながら、指導に当たっています。

入職してから、必死に業務に取り組んできましたが、今までを振り返るとあのときこうしていればと後悔することが多くあります。老健に勤めてから、住み慣れた地域で生きていく大切さを学び、リハビリのあり方、障害を抱えた中でその方の人生を送るための基盤を作る責任を改めて感じました。今後、理学療法士は質が求められ、より良い治療を提供していかなければならないことを忘れずに、利用者様に寄り添いながら励んでいこうと思っています。

これからも日々努力し続け、一人一人と向き合っていきたいと思っています。

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会事務局では、

1. 会員の住所管理
2. 同窓会報の作成・発行
3. 同窓会ホームページの管理
4. 総会、懇親会の運営

等の業務を行っています。

これらの業務に関連して、次の方は事務局にご連絡ください。

1. 住所・氏名・職場に変更があった方
2. 同窓会報に寄稿したい方
3. 支部会を組織したい方

連絡窓口

〒370-0007 高崎市問屋町西 1-7-2

アーバンK・F 103

メディカルサフラン

TEL：027-381-6002

FAX：027-388-0909

E-mail：alumni@paz.ac.jp